

1. 坂手地区で活動する組織・団体

- 自治会
- 青少年育成市民会議
- 子ども会
- PTA
- 青少年相談員
- 民生委員・児童委員
- 社会福祉協議会支部
- 生活支援コーディネーター
- 介護予防推進員
- シルバークラブ
- 自主防災組織
- 消防団
- 交通安全協会坂手支部
- 防犯協会坂手分会
- NPO法人
- 教育育振興会
- 西南地区環境保全連絡協議会
- 農漁村再生エネルギー坂手町連絡協議会
- シルバーリハビリ体操指導士による体操
- 食事会
- 健康コーラス
- あいあい隊（青少年育成市民会議の中の一つの活動）

など

団体の現状・抱える課題

<防犯協会>
防犯パトロールを実施
するために警察と市役
所の手続きが大変

<交通安全協会>
役員のみなり手が
いない

活動団体の役員
に同じ人がなっ
ている

<交通安全協会>
活動量が少ない

<小学校教育振興会>
会費の減少

<子供会>
少子化で活動が
できない

<社会福祉協議会>
コロナ禍で活動が
一部停滞

団体が連携して
取り組んでいること

各団体
ふれあいフェス&子供まつり

今後、団体が連携して
取り組めそうなこと

団体の現状・抱える課題

子どもたちの安全
通学路の安全

<各自治会>
自主防災意識

ゴミのポイ捨て
不法投棄

放棄地の草刈り
竹の道路へのはみだし
道路の草刈り、枝切り

青年たちの活性化
若い人が住みたくなるような地域
にするための方法があれば…

地域の団体にどのようなものがあり、どのように活動しているのかわからない。外から来た人が活動に参加しづらい。

企業が入ってきているが、その割に人が増えていない

団体が連携して
取り組んでいること

<坂手区長会+大塚戸区長会>
ゴルフ場～一言主神社付近のゴミ不法投棄パトロール、クリーンアップ環境パトロール活動

今後、団体が連携して
取り組めそうなこと

地域の団体はそれぞれ大切であるが、区長やそれぞれの役職の負担を少なくすることが、皆が入りやすく今後の会の存続にとって大切であると思う。今後人口が減っていくなかで会費等の減少は課題であるが、経費を減らしていくことも考えていかなければならない。

団体の現状・抱える課題

<自治会、消防団>
なり手がいない

<青少年育成市民会議>
ひきこもり児童への取組
方法や対応が難しい

各団体とのつながり

<子供会育成会>
塾やスポーツクラブで
子どもが集まらない

団体が連携して
取り組んでいること

<社協+子供会+青少年育成市民会議+
他団体>
坂手フェスティバル&子供まつりの開催

<PTA+あいあい隊+区長会+防犯協会+
交通安全協会>
立哨、声掛け運動の実施

<やまゆり+あいあい隊>
後期高齢者への送迎&食事提供

<子供会+青少年育成市民会議+あいあい隊>
芋ほり体験の実施

今後、団体が連携して
取り組めそうなこと

消防団が役になって
いることを団員や周
囲に知ってもらう

ワクワクできればやれる、やり続けら
れる。それには押し付けないことが重
要。参加している人が楽しければよい。
大人が楽しければ子供も参加する。
飲むこと(お酒とは限らない)。
小さい力が集まって大きくなる。
女性のネットワークを利用。